会議結果報告書

1　会議名	ごみ処理に関する課題についての意見交換会（新南湖自治会）
2　日時	平成30年6月15日（金）19：00～20：00
3　場所	南湖会館
4　出席者	（資源循環課）森岡副主査、水本主事 （環境事業センター）尾坂主幹、安齋担当主査 （新南湖自治会）参加人数：13人
5　内容	本市のごみ処理に関する課題について意見交換会を実施した。会議の主な質問と意見は次のとおりであった。 ●戸別収集について。ごみは玄関先におくことになるのか。鳥獣対策はどうなるのか。 →他市では、戸別収集においての鳥獣対策は、各家庭にお願いし、かごやポリバケツなどを各自使って対策を行っている状況である。茅ヶ崎においても、戸別収集の導入となれば同様の対応を考えている。 ●現在、回収業者はどのように選定しているのか。契約方法はどうか。 →現状では、燃やせるごみ・燃やせないごみは直営（市職員）で収集し、資源物は一般廃棄物収集運搬許可業者で組織されている茅ヶ崎市資源分別回収協同組合が収集を行っている。資源物の収集については、トラックの台数や人員などの法令で定める委託基準をふまえた上で、随意契約となっている。 ●現状の認識、課題、問題点をふまえたうえで、有料化・戸別収集することで解決するというのが全く理解できない。現状、ごみの問題は自治会にたくさんあり、市は自治会にこの問題を丸投げしている。いきなり有料化・戸別収集に移行しても、この問題の解決には至らないのではないか。今回の意見交換会は、課題についての意見交換にして欲しいと事前に言われたが、各自治会は、アパートの住人、自治会に入っていない人などのごみの排出に関する問題を抱えている。自治会では、特別会計を組んでごみBOXを購入した。その人だけにしか使わない予算として、自治会員から徴収を行った。そういうことを自治会にさせておいて、いきなり市の予算が十分じゃないから、市民に負担してくれというのは、今まで市は何をやっていたのか、怠慢ではないか、と思う。この二つの策がどのように有効であるかをきちんと説明しなければ、今の説明では全くわからない。 ●先行市がやっているから、茅ヶ崎市もやりましょうということでは、茅ヶ崎市の政策として納得いかない。丁寧に、こういう効果があるから有料化は極めて有効であると説明できなければ誰も理解できない。今抱えている問題の解決があって初めて、次のステップとして、改革のアイデアを提案してもらいたい。また、説明を聞いていても、現状認識が甘い、その前にやることがいっぱいあるのではないかと思う。

●自治会としてもごみの問題では相当な時間を費やしてきた。ごみ集積場所について、環境事業センターと自治会の認識が違うことも良くある。そういう現状を認識したうえで、有料化・戸別収集について、政策的によく考えて説明をしてもらわないと、自治会としては納得できない。

●他市の状況について、金額面だけでなく、実際に足を運んで検証してみたか。戸別収集についてはどのような問題があり、どのようなプロセスを踏んで、どのように実現したのかを知りたい。
→藤沢市の戸別収集では、各家庭までごみを集めに伺っている。２ｔのパッカー車が入れないところは、軽自動車で伺う。軽自動車でも入れないところは、歩いて収集に伺う。これは大和市においても同じである。茅ヶ崎市でも、戸別収集となれば、おそらく同じ方法になると思う。

●色々資料を出してもらったが、もともと地方自治とは何なのかを考えてほしい。
私たちが生活する上で必要な、文化的な生活が必要だということが住民が住むところにおいて基礎だと思っている。基本となるごみの排出において、有料化するのはいかがなものか。何十億もかけて道の駅をつくるくらいなら、まずごみの問題にお金をかけるべきだ。

●藤沢市では、有料化をしているからか、スーパーに買い物に行って、パック詰めのものについてトレイをスーパーに捨ててくるという人もいると聞く。家庭から出る容器包装プラは減るかもしれないが、スーパーのごみとしてはどうなるのか。市全体としてはどうなるのか。

●有料化についてのデメリットとしては、不法投棄とあるが、他市ではどうだったのか。事例も何もない。対応の仕方など事例をもっと出してもらえればわかりやすいと思う。

●ごみの集積場所に隣接している家に 7 年住んでいる。そこは、燃やせるごみ・燃やせないごみ・資源物のすべての集積場所であり、不法投棄しやすい環境である。集積場所の状況は我が家からしか見えない。夜中に出されることもある。その後、誰が片付けるかというと、集積場所の近くに住む人が分別して、環境事業センターに連絡し持っていってもらうのが一連の流れである。びん・缶・ペットボトルについては、当日の朝出すようにお願いしているが、前日に出す人がいる。注意してもなおらない。
いつになったらこのような問題が解消されて文化的な生活が送れるようになるのか。
市職員が、自治会が抱えている問題をもっと把握してほしい。今日の説明を聞いても、ごみの減量化・資源化とおっしゃっていたが、私の地域では、まだその段階ではない。

	→当面の課題で、自治会の皆様がご苦労されているところがあると思うが、市として取り組める範囲でやっていきたいと考えている。環境事業センターにも地区担当がいるので、課題となっている集積場所について対応させていただきたいと思う。 ●戸別収集について、予算的にはどのように考えているのか。有料化で補うつもりなのか、新たに予算を取るのか。戸別収集を導入したらお金がかかるのは当然。それでも導入しようというのは、どのような意図か。 →今の集積場所では、だれがごみを出したのか、だれのごみなのかがわからない。戸別収集では、各ご家庭の前に出すこととなるので、排出者責任が明確なものとなる。きちんと出そうという意識が働くことから、ごみの減量化が進むことを目的としている。 ●戸別収集の費用はどのくらいかかるのか？ →現在、費用については精査しているところである。 ●有料化と戸別収集をセットとして考えているのではないか。戸別収集をするとお金がかかるから、有料化で補おうとしているのではないか。目的は何なのか。 →すべてに共通していることは、ごみの減量化が目的である。有料化を行うことで、ごみ処理費用の一部を市民の皆様にご負担いただくこととなると、その費用に当てることが出来る。ただ、戸別収集は、別途お金がかかるので、戸別収集にあまり費用が掛からないのであれば導入したいと考えている。ただ、ご負担いただく以外にも、まずは現在の経費を削減することが必要と考え、赤字にならないような仕組みで導入できるのであればやっていきたいと考えている。 ●戸別収集が出来るのであれば、有料化する必要ないではないか。 ●戸別収集には人もお金もかかる。それが実現できるのかという説明がないから、この提案は、現実的ではない。 ●段階的に話をするべきである。現在の集積場所に排出する方法から、戸別収集にした場合、どのくらいの費用負担がでてくるか、それから先に有料化という話が出て来るべきではないか。 ●説明の順序が逆ではないか。どういうプロセスでどういう手当が出来るから、これが実現可能だという提案をしないと、政策の提案とはいえない。 ●単独の課の取り組みとして無理がある。組織横断的に、取り組むべきではないか。今の課題とその解決策では、実現できるとは思えない。

●アンケートの５．６．７については、今の段階では回答できない。現状、どの様な問題があって、どのように解決していくか、導入した時に考えられるデメリットについて、先行市で色々なデメリットが顕在化しているだろうから、これに関してどのように対策していくのかを考えるべき。計画しても、市民が不安に思っていることを蔑ろにして、先に進めればいいというものではない。計画案を提示してからだと思う。
→アンケートについては、今おっしゃっていただいたことをそのまま書いていただくようお願いしたい。

●お金がないから、有料化して徴収しますということか。
→市としては、ごみの減量に有効な手法の一つとして考えている。

●もっとよく検討して、提案できる条件を整えてから提案してほしい。

●茅ヶ崎市は、どの課においても、政策については後回しと先送りである。政策についてもう少し、しっかりと提案できる状態にしてから提案してもらいたい。これは提案する以前の問題である。

●今日の趣旨は、ごみの有料化をしたいということで来たのではないか。

●有料化はやむを得ないという事であれば、有料化でもいい。でも、今日の説明はそれ以前の問題である。

●アンケートのごみの有料化をするべきか、費用をいくらにしたらいいかとあるが、市民から意見を聞いても、それを反映させるつもりはないのではないか。
→そのようなことはない。皆様からの意見は方針を決める際の参考として取り扱いたい。

●ごみの処理にはお金がかかる、だから有料化するしかないというような、誘導的な説明に聞こえてしまう。

●厨芥類について、アメリカでは 40 年前に、すでにディスポーザーで下水道に流していた。そのような色々な提案をし、メリット・デメリットを検討したうえで、この提案が最適なんだという事を示してもらわないと、提案にはならいないと思う。

●現状と導入後のデメリットで共通するのは、ごみ出しマナーと不法投棄である。市も、実態に目を向けて、市民と協力して、まずはいかになくしていくかを進めていくべき。防犯カメラを設置するとか、もう一歩進んだ対策をして、不法投棄をなくして

	いかないとならないと思う。 ●環境事業センターが、不適正排出に啓発シールを貼って、一週間様子をみる。それが啓発になっていると思ったら、とんでもない話である。啓発される人なんていない。誰も取りに来ない。結局、環境指導員や近所の人が持ち帰って分別している。 ●自転車の違法駐車のパトロールと同じように、アルバイトを雇って、ごみ集積場所のパトロールをやった方がいい。少しでも現状の問題を解決するためのアイデアを考えてほしい。 ●戸別収集をするにしても、市の職員だと経費がかかるので、シルバー人材センターに頼むとか、別の手段にするとこれだけ経費が抑えられるとか、そのような資料を出してもらわないと市民には判断出来ない。 →直営でやるのか、民間を活用するのか、そこについても検討している。具体的な額についても、お話しできる状況になったらお示ししたいと思っている。 ●説明会をやって、この後市はどうするのか。 →ご意見を伺い、来年度中に市の方針を出していきたい。その際には、再度パブリックコメント等でご意見を賜りたいと考えている。 ●茅ヶ崎の 136 自治会すべてを回るのか。 →その予定である。 以上